





〈シリーズ〉

赤訪問

色とりどりの花が咲き誇るフラワーパークを実現し、 子どもたらの笑顔あふれる地域を再興したい」

8 8 8 8 三瀬 施 匮

始めても続けられないよ 3年の修行じ

Garden (ミウラグリーのカラー、エキナセア。 た集落の中に広がります。 山あいの豊かな自然に囲まれ ンガーデン)の切り花圃場は 美しく咲き誇る色とりどり

浄法寺町のりんどう農家に生 代表の三浦雄也氏は、二戸市 就農5年目を迎えるMiu Green Garden

> 品種改良を学び、そのまま東 京に就職しました。 大学では土壌・

やめて農業をやります」と話 ため、先輩や上司に「3年で 限を決めて帰るつもりでいた き卸売業者に入社。当時は期 れ、大学を卒業後、大手の花 勉強してこい」と父親に言わ 持ちがあるなら流通のことを とで次第に農業が視野に入っ せんでしたが、大学で学ぶこ てきました。「農業をする気 当初は継ぐ気持ちはありま

長野県松本市の いないことに気 ジョンも持って が何の夢もビ と言われ、自分 ていけないよ」 すと、上司から は始めても続け たった3年で そしてそこで

> 営について学ばせていただけ 生産法人(㈱フラワースピ26の生産者で組織する切り花 業の後、岩手に帰ることにな ることになり、更に2年間修 リット)で生産技術や農業経

前に進む不安を払拭するために

臨みました。 り上げを出せる自信を持って たが、不安よりもむしろ、売 融資を受けての立ち上げでし ことにしました。設備投資の ではなく新規就農の道を選ぶ ない中で、退路を断って後継 10年で約500名が減少。若 2023年では4066人と 4623人だった人口が、 い世代が町外に出たまま戻ら 浄法寺町は2013年には

で出荷まで持っていくことが 行いました。「就農し数ヶ月 寝る間を惜しんで束ねる作業 らいカラーの出荷準備のため 行った後、両親に手伝っても でした。夜7時まで作業を 作業をしなければなりません なわき芽を取り除く「芽かき」 同時にトルコキキョウの余分 た。カラーの出荷が始まると つの施設で生産を始めまし ウス、カラー1ハウスの3 初年度はトルコキキョウ2

> す。 かない」と当時を振り返りま なった方々には感謝の思いし 験が大きかった。お世話に できたのは、5年間の花き卸 切り花生産農家での経

に増やし始めています。 らは路地ものの生産量も徐々 要があります。そこで今年か るため、生産品目を増やす必 とりどりの切り花を必要とす を考えています。アレンジメ を含めた加工業務をすること 増やすためにアレンジメント 生産効率を更に上げ、 まずは生産の安定化を図り、 れる予定です。そのためにも がり、今年から社員を迎え入 ントを提供するためには、色 現在ハウスは12棟にまで広

賑やかな声を響かせたい沢山の子どもたちの

まれて間もない子どもをあや しい地域の活用を提案するこ 若い世代が新たな農業や、新 ぐ人のいない農家が手放した 進んでいます。今では後を継 が急激に減少し高齢化は益々 とで打破できないか。まだ生 んな状況を自分たちのような 土地が多く出始めました。そ と同様に、地元に残る若い人 浄法寺町では周辺の市町 地域の子どもたち

物流を



は本気で考えています。 寺を再興できないか、三浦 が家族と一緒に楽しめる浄法

げました。 みんなでできるような夢を掲 収穫体験を子どもたち、家族 ティングフラワーを併設して をフラワーパークにし、カッ 10年ビジョンに、浄法寺一帯 指針実践塾では、経営指針の 第16期人を生かす経営・経営 昨年受講した岩手同友会の

つ進み続けています。 構想の実現に向かって少しず 蘇らせたい。」三浦氏の描く あの風景をもう一度浄法寺に かに川遊びをしていました。 がいて、川端の公園では賑や 「子どもの頃は沢山同級

世

遠野地域で 若手経営者語る!

央

支

部

は㈱テラ ています。 約100名を超える雇用をし み、現在グループ会社を含み 祖父の時代から土木事業を営 で1944年創業、三浦氏の だきました。㈱テラは遠野市 から~のテーマでご報告いた ジ!」~わが社の歴史とこれ 顕磁郎氏より「常にチャレン オバ工業 会が開催されました。報告者 会議室にて、県央支部8月例 8月23日 (水)遠野市役所 代表取締役 常務取締役、株ア 三浦



3Kイメージからの脱却 深刻な人手不足と

様などの属性情報を一貫して ます。内容は3Dモデルと仕 用の導入を積極的に進めてい 図るために推進しており、特 す。国土交通省で、2016年 生産性向上を図る取組みで ストラクション)」建設現場の Construction(アイ・コン いと思い取り組んだのが「i-言われ何とかこれを脱却した 年、深刻な人手不足や3Kと 2006年遠野に戻り㈱テラ に、ICT技術の全面的な活 から建設現場の生産性向上を に入社します。建設会社は近 三浦氏は大学を卒業後、建 資材メーカー に就職

施工ができ、施工の 管理する情報システ まれます。これによ 安全性の向上も見込 正確性だけでなく、 で、経験の浅いオペ なICT建機の導入 入、自動制御が可能 ムや、ドローンの導 レーターや女性でも

> く変化しました。 ンアップや生産性向上に大き りも働く社員のモチベーショ イメージを大きく変え、何よ

役に立ちたいと思いを遠野地域が良くなる事

これから、益々この業界は厳 と報告されました。 張っていきたいと思います。 ため、貢献できるように預 を大切に、これからも地域の い事業を模索しながら、「人 りますが、常に危機感と新し しい時代を迎えることにはな れた原点だと思っています。 がわが社が79年仕事を続けら と言っていました。この思い 良くなるのか、役に立ちたい であり、どうやったら遠野が の大小は関係ない。常に謙虚 特に父親は人に上下や、会社 を形成していると思います。 育ちました。これが今の自分 父親が頑張っている姿を見て 私は子供の頃から、祖父、

乐北支部岩手山 地区

現場から徹底して学ぶ

動車鈑金で、専務取締役 8月23日 (水)に衛小川原自 県北支部岩手山麓地区会が

川原航氏よりミニ報告をして いただきました。 航氏は大学卒業後、次期後

する商売の大変さを学びまし 開では営業職に就き商品の良 た。その後、小川原自動車鈑金 し悪しより、価格交渉が優先 ため、あさ開酒造に就職。あさ 継者として多くの経験を積む へ入社し現場の鈑金・塗装部

立ち上げる 自主的に新事業を

らえることに感動します。 によりお客様に直接喜んでも

異動。事業の全体像を把握し、 後、自主的にフロント部門に 現場で3年間経験を積んだ



門に従事することで、技術力 3年前より新規事業「キ 見えた地区会になりました。 質疑応答やたくさんのアドバ 役に就任しました。報告後は、 ようになり、売上が8、000 カーの車両販売や修理を行 リーベース」を立ち上げます。 万円から12、000万円に イスをもらいあらたな課題も ・ヤンピングカー、キッチン 加。2022年に専務取締

示北支部はやて地区

グランプリ受賞! 石手から発信 につぽんの宝物

ました。 やて地区で企業訪問が行わ 8 月 29 日 (火)県北支部 は れ

行っている㈱肉のふがね 話をしていただきました。 表取締役 府金伸治氏より の食肉加工製品・総菜等 今回は岩手町で精肉・自社 お代を

出会う 生ハム [セシーナ]と

で調理場を経験し、29歳の時卒業後、ホテルや日本料理屋 りでした。幼少期から店の手 に家業を継ぐため戻ってきま 伝いをしていた府金氏は大学 肉店として開業したのが始ま 1965年現会長が府金精

と出会います。 地方発祥の生ハム「セシーナ んな中スペイン北部のレオン 企画担当をしていました。そ 東圏の百貨店での催事出店の 当販売や総菜の商品開発、関 した。当初、地元の道の駅で弁

工場見学をし終了しました。 したことなどを報告。その後 グランプリ世界大会」で受賞 開催された「にっぽんの宝物 が誕生。先日シンガポールで 和牛の熟成生ハム「セシーナ」 年以上かけて熟成させた短角 海塩「のだ塩」に漬け込み、1 ナ」を作ることを決意。天然の 知って欲しいと考え「セシー 角和牛の魅力を多くの人に 退していくことを懸念し、短 れている中、地域の畜産が衰 牛のほとんどが岩手で生産さ 1パーセント以下の短角和



県央支部大増強DAY 地区会員 訪

さを体感

~10社の会員訪問で20件のゲスト紹介を獲得!~

皆で集合まずは 作戦会議! (1日目)

日目は矢幅駅に隣接している

10時から、3日間の大増強D AYを行いました。7日の1 県央支部では8月7日(月



どんどん出てきます。 も情報交換をしている方で 気さくで熱い経営者で、いつ きた方で…」「この方はとても てきて話してくださいまし 誘いたい、と名刺の束を持っ と重ね、本気で学びたい人を 藤岡さんは、自分のこれまで ことを学びたいメンバーを15 さったので」と一緒に経営の 氏は、「せっかく皆で来てくだ 社)カダル 代表の藤岡裕子 速検討会を始めました。(一 ション」(カダル)に集合し、早 ひとりの表情と共に、情報 …」など話せば話すほど、一人 が大好きでUターンで戻って た。「この方は創業で、矢巾町 「矢巾町地域情報発信ステー 八紹介してくださいました。

なって誘いますよ!

「そういえば、経営のことを

出ていただいたり、一社一

ださることになりまし 報告者を引き受けてく やはぱーくで開催され 速9月25日15時から、 誘ってみればいいんで とがあった。同友会に れば…と話していたこ 本気で学べる場所があ る紫波矢巾地区例会の すよね」と藤岡さん。早

りました。 の会員訪問&ゲスト紹介とな もんね。思い切って聞いてみ している人たちは周りにいる 基本。誰だって自分の大切に やっぱり顔を見て話すことが 応に、瀬川支部長も「こうやっ す」と早速電話をかけ ることだとわかった」と納得 て開拓すればいいんだね。 てくださるスピード対 全員に声かけてみま 「今名前があがった

が終了となりました。 言をいただき、3時間の訪 くださると、藤岡さんも店も から、「同友会の皆さんが来て 塾」に参加している社員の方 いでください!」と嬉しい一 元気になります。ぜひまたお つくった朝取りの「白なす」 介のあった20代の農家さんが ゙オクラ」などをかかえ切れな ほど購入。また、「社員共育 帰り際には、つい先ほど紹





予定時間を遥かに オーバー(2日目・3日目)

おいで戴いて…」と見送りに 会長ご夫妻が「いやわざわざ も、「同友会です」と話しただ 本人がおいでにならなくと る訪問がほとんどでした。ご 定の時間を遙かにオーバーす す。お互いに話したいことが コーヒーで3時間はざらで ました。話を始めると、一杯 久しぶり!」の声が響き渡り の訪問など、伺うほどに「おっ きなかった方々や、数年ぶり は、コロナ禍の中でお会い けで社員が笑顔になったり、 めどなく溢れ出てきて、予 発掘訪問DAYの第2日目 3日連続、会員訪問・ゲス

感できます。れだけ相手に伝わるかが、体へのちょっとした訪問が、ど

訪問先の笑顔に驚きWelcome!

会長は「アポイント無し 事務局と一緒に歩いていただ 社を訪問。熱い日差しの中で 社を訪問。熱い日差しの中で トし、午前中だけで次々と7 の玉川社長の訪問からスター の玉川社長の訪問からスター がた紫波矢巾地区の川村地区

どなたも笑顔で迎えてくが、伺った先の皆さんが験に、初めは驚きましたで次々に企業訪問する体でとはは、一アポイント無し会長は一アポイント無し



たいと思います。」と話し、内 方実した時間に感じました。 今度は会員外の方へ研究集会 のパンフと自社のパンフを おってローラー作戦をしてみ たいと思います。」と話し、内 をの濃い地区会員訪問になり 容の濃い地区会員が問じました。

2023

岩手同

友会

感動体験

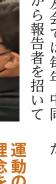
いたんだ。沿岸でもいいよ「あ、そうそう、紹介する人

が

込んでくださ うよ」とすぐ ね。多分入っ 能性をひしひ の同友会の可 でしかできな では得られな メールや電話 る方など、 スマホで読み コードを早速 カードのQR きてくださる 名刺を持って しと感じた時 に、これから い体験の数々 い、対面訪問 てくれると思 や、紹介

8月25日 (金)アイーナ5 員に**り運動を広める覚悟!** が、公**員が同友会の語り部に** の研

協や他県から報告者を招いて「岩手同友会では毎年、中同





理念を再確認運動の歴史と

提起されました。 瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波瀬川峰雄副代表理事 (紫波

間となりまし

手引きの活用を 支部活動の

「支部地区活動の進め方」では手引き作成を牽引した、は手引き作成を牽引した、は手引きをもとに報告。「今年度は例会のグループ討論時間をは例会のグループ討論時間をらづくりに挑戦していくこ会づくりに挑戦していくこ会がよりに挑戦していくこと」が提起されました。

420名の会勢必達を!

最後に「同友会の組織強化」最後に「同友会の組織強化」は小川原自動車鈑金 代表取締化なでやる、。共に学び合う仲んなでやる、。共に学び合う仲んなでやる、。共に学び合う仲んなでやる、。共に学び合う仲んなでやる、。

語り部に役員一人ひとりが同友会の

参加役員から「役員研修会を加役員から「役員研修会」をで、自分ごとに考えた」「事務局と役員は運動を担うによりであり、互いに成パートナーであり、互いに成けしあうということがわかった」などの感想がありました。

~県南支部·県央支部紫波矢巾地区訪問例会

東北酸素㈱紫波営業所・紫波環境㈱の2社を訪問

りました。 大きな刺激のあった時間とな た皆さんも圧倒されながらも んの真剣な表情に、参加され い現場の緊張感と社員の皆さ ました。普段触れたことのな の説明と実践報告をいただき の方々と社長から会社、工場 問し、それぞれ担当する社員 素㈱紫波営業所と隣接する工 昨年竣工したばかりの東北酸 ました。当日は18名が参加。 ての共催訪問例会を開催し 紫波環境㈱の2箇所を訪 区では7月18日 初めての紫波町へ移動 (火曜

社員の実直な説明に感嘆の声

ワーポイントを使い、 社員同士がどんな話し合いを GSへの取り組みについて、 指針の社内での実践と、SD 所長代理の藤原徹氏から経営 長のご挨拶の後、紫波営業所、 合弁企業)へ集合、千葉厚社 ね取り組んできたか、パ って時系列で紐解いてお話 初めに東北酸素㈱紫波営業 ウォーター、東北酸素の 岩手液酸株式会社(工

> があがりました。 数々に参加者からは感嘆の声 に報告、その実直な実践の 努力してきたかなどを赤裸々 体的な取り組みになるよう テランも新人もそれぞれが主 社員全員が声を出し合い、ベ れたこと、そして営業所内で 全面的にその進め方を任せら あたって、社長から藤原氏に に、どのように藤原氏自身が 一、紫波営業所内で取り組むに ただきました。 なかでも経営指針を成文化

感じられない空気感 現地に行かないと

却する実験など、現地を訪問 た風船を液体窒素で急速に冷 せていただいたり、膨らませ 体の酸素をバケツに注いで見 の見学では、青みがかった液 だきました。酸素の製造過程 に披露いただき、ご説明いた 社員に医療用酸素などの製造 が二組に分かれ、現場の担当 た時間をいただきました。 しないと体験できない充実し その後の工場見学では18名 続いて訪問した紫波環境㈱ 実際の充填場など特別

> では、 備に取り組んでいるかについ 境㈱が全社挙げて五郎沼の整 古代ハスを見学、なぜ紫波環 ばの五郎沼に移動し、蘇った ました。その後会社のすぐそ と高橋部長からお話いただき ついて、丁寧に瀬川峰雄社長 製して製造するBDF燃料 てもお話いただきました。 (軽油と同様に使用可能)に 使用後の天ぷら油を精

誇りを感じられる 話すことで自分の仕事に

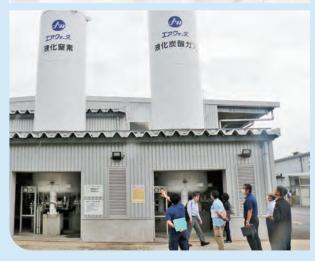
るほどでした。 した時間を遙かにオーバーす るその姿勢に、参加者からは 持って取り組んでいこうとす 環境やエネルギーに責任を 止めどなく質問が続き、予定 た地域企業として、地域の 両企業ともに紫波町に根付

らは、「こうして訪問いただく の声が寄せられ、また社員かいるのが伝わってくる」など ぞれの社員の説明が素晴らし びの多い訪問となりました。 はやりがいを実感する」など 感じるし、質問に応えること ことで、自分の仕事に誇りを した表情に感激した」「それ インフラだ」「社員の活き生き ならない仕事。まさに地域の とも社会に、地域になくては 声があり、双方にとって学 感想では「間違いなく両社 誇りややりがいを感じて





社員の方から充填装置の説明





液体窒素で風船実験





820年前五郎沼に咲いた古代蓮



BDF 燃料施設の前で



遺跡の説明をする瀬川氏

岩手県中小企業家同友会

営研究集会

13:00開会

「いわての新時代を始めよう」~学ぶっておもしぇじゃ From盛岡

◆タイムスケジュール

13:00 開会 15:00 分科会 13:25 基調報告 19:00 懇親会 20:30 閉会 14:40 休憩

会場

アートホテル盛岡

岩手県盛岡市大通3丁目3-18 TEL: 019-625-2131

参加費

10.000 円 (基調報告・分科会および懇親会)

※基調報告・分科会のみ 4,000 円 / 懇親会のみ 7,000 円

※申込期限 11月15日(水) までにお申し込みください。 16日以降キャンセルは参加費をいただきます。

基調報告

(設営担当:青年部会)

「いこるところに人は集まる」

~我われが業界の、地域の種火になろう!~

報告者

(株)タテイシ広美社 会長 立石 克昭氏

(広島同友会代表理事)

立石氏は高校卒業後、大阪で看板職人の修業をして帰郷、24歳で起業し ました。苦闘期を乗り越え、小型から大型まで、屋内外の看板製作へと事業 を拡大、さらに30年前、LED電光掲示板を手掛けることになり、「町の看板 屋」からデジタルサイネージ(デジタル技術を用いた看板分野)へ進出、業 界でも注目される存在です。

求人活動をきっかけに同友会に入会後、地区会長になったのがバブル崩 壊の時でした。自社も地区会員も仕事がない。こんな時こそ同友会だと「い こる地区会をつくろう!]とスローガンを掲げました(いこる・・炭に赤々と火 がついた状態)。創業期もバブルも、ここが自社での新たな事業転換への きっかけでした。

「経営者は種火です。何があっても自分がやるんだと覚悟をもって行動すれ ば、あとから人はついてきます。種火がまわりの炭に火をつけるように、会社 でも、地域でも、我われがいこっていこう。」と熱く話す立石氏の報告です。



(有)くらし建築工房 代表取締役

中村 喜一 🗈

3年ぶりに4つの分科会を設け、フ ル開催となる岩手同友会の第21回 経営研究集会は、今回は盛岡を会場 に盛岡支部が設営担当として皆様 をお迎えします。スローガンには「い わての新時代を始めよう」を掲げま した。コロナ禍を経て、我われ一人ひ とりが岩手の新時代を開拓する主 体となろうと、実行委員会での議論 を経て掲げさせていただきました。

基調報告・第1分科会には、広島から(株)タテイシ広美社 会長 立石克昭氏をお迎えし、私たち自身がその火種にな ろうと、ご提起いただきます。また2~4の分科会では、岩手 の各地で実奮闘されている方の実践報告がございます。 ぜひここから、皆様と未来への展望を語って参りたいと思 います。ご参加を心よりお待ちしております。



(株)タテイシ広美社

経営理念 お客様の繁栄を考え、地域・社会へ貢献する ことが我社の繁栄につながる

[会社概要]

業 1977年 17億円 商

社 員 数 84名(パート35名)

LED電光掲示板システム、防災情報表示シス

テム、各種看板

第1分科会 (設営担当:盛岡第2地区)/メインテーマ (労使見解)

「社員の夢が叶う企業づくり」

~『看板業』から

『情報伝達業』へ

報告者

タテイシ広美社 会長 立石 克昭 氏



創業当初は仕事が少なく、辞める社員も多く、大変な苦労をされま した。また、技術革新により、これまで培った技術が役に立たなくなっ たこともありました。時代が大きく変わり、悩み続ける中、自社事業を 「情報伝達業」と見直しし、社員と共に経営指針をもとに変革に取り組 み、全国から仕事依頼が来る会社に大きく転換しました。

「経営者は社員に夢を与える仕事。社員に行き先を示し、社員と共に社 員の夢が叶う企業づくりをする。それが、結果として自社の本当の存在価値・利益につながる」と 話される立石氏。基調報告を受けて、更に分科会で深く学び合います。

第2分科会 (設営担当:盛岡第1地区)/メインテーマ 【社員教育】

「私が現場にいなくとも良くなった理由」

~経営指針の成文化から実践、 コツコツ積み上げた5年間~

報告者

農事組合法人宮守川上流生産組合 副組合長 桶田 陽子氏



農事組合法人宮守川上流生産組合 副組合長 設立:2004年3月30日 社員数:25(うちパート10名) **年商**:2.3億円 事業内容:農産物生産、加工、販売 https://miyamori-joryu.or.jp/

「以前は何でも、自分がいなければ」と思っていました。でもそれ は、一緒に働いている社員の意欲をむしろ抑えていたことに気づい たとき、取り組みのすべてが変化しました。経営指針を創る会(現 経営指針実践塾)終了後、社員の話に耳を傾け、社員共育委員会で 学んだことを社内で丁寧に実践を積み上げることで、社員一人ひと りが互いに力を発揮し合える環境へと変わり始めます。丁寧にエク セルでシートを作成し、社員が自分で計画を作成、実行できるよう になるまで5年間。展望を掲げながらも、根気よく、粘り強く取り 組んだその実践を、ありのままにお話いただきます。

(設営担当:盛岡第3地区)/メインテーマ【共同求人】

※社員と一緒に参加できる分科会です。

「休日明けに社員が行きたくなる会社をめざして」

報告者

東北酸素(株) 紫波営業所 所長代理 藤原 徹氏

報告者プロフィール

東北酸素株式会社紫波営業所 所長代理 **設立**:1947年7月30日 **社員数**:30名 **年商**:9.5億円 事業概要:産業医療用高圧ガス製造販売、溶接材料、 鋳鋼機材、各種産業機器の専門商社 https://www.tohoku-sanso.co.jp/



求人担当として同友会に通うなかで、新卒採用すべきか中途か悩みな がら悶々と考える日々。そんななかSDGsを自分たちで取り組んで良い ことになり、無我夢中でゴミの17分別を開始、業績以外で褒められること に奮起。全力で向き合います。そんななか2021年7月社長が経営指針を 成文化。今後営業所でも取り組んで行くことが決まり、「さあ」という矢先 に新卒採用した社員に退職者が…。そこで社員の声を聴いて作成した今

年のスローガンは「休日明けに行きたくなる会社にしよう」「言いたいことが気にせず言える会 社にしよう」。そしてテーマを「傾聴」にすることでみるみる社員の表情が変わっていきました・・・。

(設営担当:盛岡第4地区)/メインテーマ 【地域づくり】

「若者が戻れる場所をつくりたい」

~住む人が本当に住みたい町、 人を呼び込む町へ~

報告者

一般社団法人·SUMICA 代表 村上 健也 氏 ((有)村健塗装 代表取締役)



山あいの人口減少、少子高齢現象が進む住田町で塗装業を営む 村上健也氏は、ケセンロックフェスティバルなどを通し、「若者が戻 る場所」を常に意識して取り組んで来ました。そして「住む人が本 当に住みたい町、人を呼び込む町へ」向け、古民家を改修した「まち 家世田米駅」を立ち上げ明治後期建設の住宅の部材をできる限り 当時のまま残したレストランやコミュニティーカフェ、交流スペース などを配置、小さな子どもたちから高齢者まで幅広い世代の住民 が訪れ、町のにぎわいの拠点として活用されています。「自分たち の街を誇れる場所にするために | ~想いを吐露いただきます。





〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11



素

ジ

知

木







■本紙掲載 ムページを

ご活用下さい。www.iwate.doyu.jp

業への出欠返信は、同封のファックス返信用紙または e.duyu をご利用下さい。

■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。

2023年10月1日発行 広報委員会
「岩手県中小企業家同友会

「企業変革支援プログラム ver2」



自社の立ち位置を明確にして 社員とともに目指す企業像

「企業変革支援プログラムス テップ 1」、「企業変革支援プロ グラムステップ 2」を1冊にま とめ、全面改訂

A4 判、80 ページ。 定価 2,200 円 (本体価格 2,000 円+税) 2022 年 10 月発行



〒020-0878 岩手県盛岡市肴町4-5 カガヤ肴町ビル3F

FAX019-626-1644

Mail: info@iwate.doyu.jp